

ご挨拶

第11回 日本臨床検査医学会 特別例会 例会長 前川 真人
(浜松医科大学医学部 臨床検査医学)

この度第 11 回日本臨床検査医学会特別例会の例会長を務めさせていただくこととなりました浜松医大の前川です。2019 年 4 月 13 日(金)に名古屋国際センターで開催致します。

日本臨床検査医学会では医学会総会の開催年にその地区で特別例会を開催してきました。2019 年4月に日本医学会総会が名古屋で開催されるため、東海北陸支部で特別例会をお世話させていただくこととなり、前川が例会長を仰せつかりました。もとより微力ではありますが、この重責を全うすべく東海北陸支部の力をお借りして務める所存であります。

さて、先回の特別例会は第10回という節目の回でありましたので、今回は次の10回の第一歩を踏み出す回であります。そこでテーマを「臨床検査医学、次のディメンジョンの幕開け」と致しました。

次のディメンジョンとしましては、世間では自動運転やら自動診断など、人工知能がシンギュラリティ(技術的特異点)をいつ引き起こすのか、Society 5.0、第4次産業革命など、技術のイノベーションが爆発していく時代に入っていくと考えられます。黒船も多数襲来することでしょう。一方では、国内では高齢化、人口減少が進んでいきます。

このような時代に、臨床検査医学はどのように対応していくのがよいのか、何をすべきか、どこに向かうべきかなども考えつつ、研究的な側面、臨床検査の現場からの側面からまずは見渡し、ここから新しい展開ができればと今回のプログラムを企画致しました。

この機会に、次のディメンジョンへの幕を皆で開けて進んで行こうではありませんか。多数の方々のご参集を名古屋でお待ちしております。